

雪害を知る

雪害は豪雪地帯だけとは限りません。普段雪が少なく、雪に慣れていない地域が大雪に見舞われると、命にかかわる災害となる恐れがあります。

01

甲府市に降った歴史的な大雪

平成 26 (2014) 年 2 月 14 日から 15 日にかけて降り続いた大雪は、甲府市で 114cm の積雪を記録し、明治 27 (1894) 年からの観測史上最多の積雪量となりました。それにより山梨県は交通網が遮断され、陸の孤島となりました。それまでの甲府市の最大積雪量は 49cm [平成 10 (1998) 年 1 月] でした。その記録を大きく上回る 114cm の積雪は人々の生活に大きな影響を与えました。

この大雪は普段降雪量が少なく、ほとんど積もることがない地域で歴史的な大雪となった場合の課題を浮き彫りにしたといえます。平成 26 (2014) 年の大雪を教訓に、備えを進めておきましょう。



平成 26 (2014) 年 2 月
観測史上最多の 114 cm の積雪を記録した甲府市
写真提供：NPO 法人 災害・防災ボランティア未来会

雪により想定される被害

人的被害

歩行中の転倒や交通事故、除雪作業中の事故など。



ライフライン被害

電線や電話線の断線等により電気・電話が使えなくなる。道路や鉄道などの交通網が遮断され、移動が困難になり流通などに影響が出る。



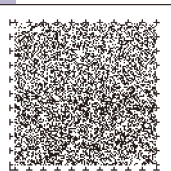
建物被害

家屋やカーポートなどの倒壊などが起こる。



雪崩被害

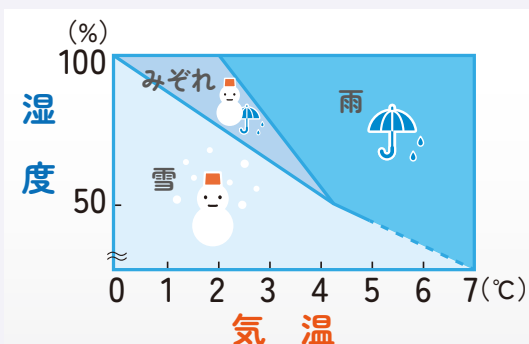
土砂災害警戒区域など、山や斜面の多い地域で雪崩れが発生する。



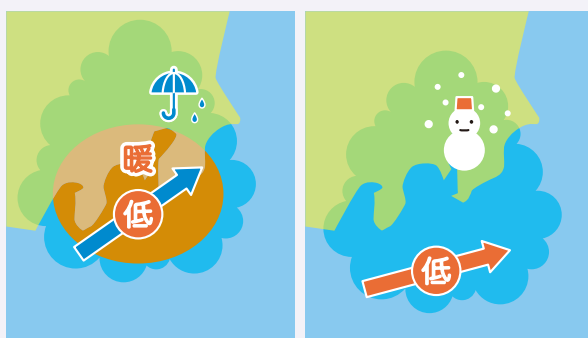
南岸低気圧って何だろう

平成 26 (2014) 年の大雪は「南岸低気圧」の影響によるものでした。甲府市で大雪が想定されるのは主に南岸低気圧が近づいてくる場合だと考えられます。

南岸低気圧は本州の南の沿岸部（南岸）を西から東へと進む低気圧です。基本的には雨を降らせる低気圧ですが「寒気」によって雪となる場合があります。



雨になるか、雪になるかの目安のひとつは「気温」です。6℃を下回ると雪の可能性が出てきます。



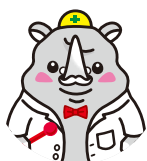
大雪になる可能性が高まるのは、低気圧が関東に近づき過ぎない距離で通過する場合です。

南岸低気圧の発達状態やコースの少しのずれによっても気温が変化するため、雪か雨かの予想は非常に難しいといわれています。もし、南岸低気圧が近づいてきた場合は、こまめに気象情報を確認しながら、雪を前提に備えを進めておきましょう。

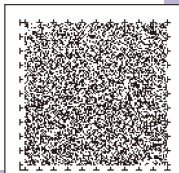
みんなで確認しよう



大雪が降ると甲府市ではどんなことが起こりますか？
暖冬の年は大雪の心配はないですか？



甲府盆地は四方を山に囲まれているので、大雪が降ると交通網が遮断し、孤立する危険性があり、生活機能などの混乱が予想されます。寒気の流れ込みが少なければ雪より雨になることが多いです。しかし暖冬でも寒気が流れ込むことがあります。もし、そのタイミングで南岸低気圧が通過した場合は、大雪になるリスクが高まるので、暖冬でも油断はできません。



雪害から身を守る

大雪での被害を最小限に抑えるために、日ごろから備えを進め、いざという時に注意すべきことを確認しておきましょう。

事前の備え

大雪になると、ライフラインが途絶える場合があります。例年全国各地で降雪による停電や断水が起きたり、また雪道での転倒事故や交通事故など、さまざまな被害が発生しています。基本的な備蓄品などの備えはP39・40を参考にして、さらに雪の場合に必要なものを用意しておきましょう。

家族みんなで話し合い、わが家の必需品をしっかり事前に準備しましょう。

除雪

除雪用具は直前になると売り切れている場合があるので早めに用意しておく安心。



防寒

カイロや灯油も早めに用意しておく。



車

スタッドレスタイヤを装着したり、タイヤチェーンを用意し、ガソリンは満タンにしておく。車の中に毛布などの防寒具も備えておく。



転倒

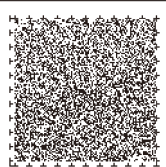
転倒対策として、できれば底が滑りにくい長靴などを用意しておく。



覚えておきたい

転ばないための、雪道での歩き方

- 手をポケットに入れたり、歩きスマホをしらない。
- 荷物はなるべく手に持たない。
- 体を強打しないように、クッションになる厚手の服装。
- 濡れにくく撥水性のある素材のものを着用する。
- 狭い歩幅でまっすぐ踏み込む。



雪道の運転で注意するポイント！

必ずスタッドレスタイヤやタイヤチェーンを装着し、車間距離を十分とって普段よりゆっくり走ります。急発進、急ブレーキ、急ハンドルは危険です。トンネルの入り口や橋の上は特に路面が凍結しやすいので注意が必要です。

覚えておきたい

もし立ち往生してしまったら！

マフラーの排気口が雪でふさがると、車内に排気ガスが入って一酸化炭素中毒になる恐れがあり非常に危険です。マフラーが雪で埋まらないようにこまめに雪かきを行うか、エンジンを切ります。

一酸化炭素中毒の危険

排気ガスが車内に流れ込むと危険です。原則、エンジンは切きましょう！

こまめに除雪を

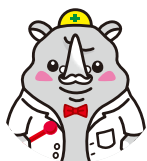
やむを得ずエンジンをかける場合は、マフラーが雪に埋まらないように！



みんなで確認しよう



大雪の時には、どんなことに注意が必要ですか？
雪かきも慣れていないので心配です。



大雪の時は外出は控えましょう！道路の通行止めや交通機関の乱れが発生し、移動が困難になったり、思わぬケガや事故に遭遇する危険があります。
雪かきは屋根や木などからの落雪に十分気をつけながら必ず2人以上で行ってください。雪は積もると重くなるので、こまめに行うのがポイントです。道路や水路に雪を捨てないようにしましょう。

